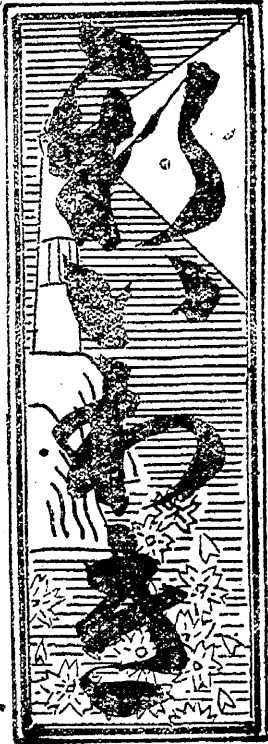


（日七十月二十 刊夕）



休 日 曜 大 祭 日 日
一 部 月 廿 五 日
二 部 月 廿 六 日
三 部 月 廿 七 日
一 行 四 十 五 日
二 行 四 十 六 日
三 行 四 十 七 日
一 部 月 廿 五 日
二 部 月 廿 六 日
三 部 月 廿 七 日
一 行 四 十 五 日
二 行 四 十 六 日
三 行 四 十 七 日

町民の負擔をば 出来るだけ輕減

平町七年度豫算の縮成方針

平町では明年度豫算編成期兵へ二圓三錢の小爲替を
に入つたので十六日各事務十役場へ送つて來た
主任に對し豫算編成参考書
の提出方を命じたが、町民の負擔を控へて當局者
は大いに頭を痛め、明年度豫
算の編成については特に歳
出は出来るだけ整理節約し
て前年度豫算を超過せざる
こと、また歳入に於ても各
税とも徴收可能な程度に
計算せしめ課税は不況の折
柄特に前年度課率を超過せ
しめず新税の設定も成るべ
く控へて町民の負擔輕減を
はかる方針であると

七十三錢騰る

大浦農産成績

大浦農業倉庫に於ける十五
日の俵米共同販賣成績は四
等標準米三十八俵の相場は
七圓二十錢の相場で落札さ
れたが之を前日に比すれば
七十三錢の昂騰であつた政
變により好況を見越しての
高値でこの日出荷された等
外品の如きすら六圓八十錢
の好値を呼んだ

石城酒造組合費 負擔輕減の運動

十九日の總會で代表が陳情

石城地方に於ける清酒の生かに一萬數千石の生産を以
て産高は好況時代には年額三、四生計を樹てゐる、然に
萬石に上り酒造家數も五十石城酒造組合に於ては四十
八名を算へたが現在では姓名の酒造組合に對し組合費
存四十戸の同業者が年額僅として好況時代同様の三千

吸血翁告訴

知人に託された 扶助金を呑んで

平町搔搔小路鈴木房吉（四〇）
は去月中知人なる同町大工
町遠藤顯嗣（三九）が病氣のた
め双葉郡浪江町の知人家に
二週間程寄寓して静養中、
同人の妻子の後事をたたくさ
し生活費にと金廿圓を受取
り乍ら遠藤の妻子の面倒を
見ぬ許りかたくなされた二十
圓をその儘着服費消して、
ひ遠藤が歸宅後之を知つて
再三返金を請求しても應ぜ
ぬため十六日平署へ告訴を
し元費の節約を計られたし提
起された

餅に恵まれる春

もち米相場は昨年より安い

お正月には是非なくてはなら
ぬ糯米平町最近の相場をき
くと、駄につき極上が十五
圓八十錢で例年よりづつと
安く政變による好況を見越
して今後幾上の値上がりは
あるとしても昨年の十八圓
五十錢に較べると二圓八十
錢から低落してゐるので豊
民は悲鳴を上げてゐるのが
消費者にとつては有難いわ
けでこの分で行けば来る
月には例年になく餅に恵ま
れるわけである

頭かんを起して 橋から墜つ

十五少年の溺死

湯本町大字關船字宿内連四
郎四男國井政治（二五）は十六
日午後六時ごろ同字地内湯
川に架る橋を渡つてゐる内
民は悲鳴を上げてゐるのが
突然鎮痙を起して河中に
落溺死した

島田氏の慶事

童謡詩運動の先驅者として

童謡詩運動の先驅者として
又アララギ派の歌人として
知られてゐる島田忠夫氏は
行總裁ハンス、ルーテル博
士が英佛兩國にクレヂット
受取に出かけたが、交渉望
み薄のまゝ、十一日飛行機で
パリからベルリンに歸還し
た

人生二十年間を 牢獄で暮した男

前科が災ひして正業に就けず 郷里へ歸る旅費を平署へ哀願

十六日平署の窓口を訪れてし
てくれとの便りに接し喜
旅費給與を哀願する男を署
員が事情をたゞすとこの男
は長野縣諏訪郡下諏訪町三
〇八洋服商前科九犯安して
藤四（四一）で十七才の折
盜罪で東京市ヶ谷刑務所で
懲役二ヶ月十五日の勞苦を
受けたのを初めとし本年七
月十一日懲役三年の刑期を
終へて秋田刑務所を出るま
で娑婆の風に當ること僅か
七年間であつた廿年間とい
ふものを暮らした松方連轉手
といふ珍らしい男であるが
秋田刑務所に於ける最後の
勞役中神佛にすがつて誕生
を決心し生業につかんとし
たが常に前科者の悲しい肩
書に災ひされてゐるのを知
つた弟の新潟長岡市洋服商
宮本谷雄から商賣の手傳を
て來た下り一三七旅客列車

列車に衝突

濱松屋の連轉手 助手二名死亡

正月町で八戸を全焼して餘
線が漏電發火したものと判
定されたがその際發火の場所
に駆つけられた平消防組自動
車のポンプに同乗の南町消防
隊員八木政吉は七丁目地内
で疾走中の車上から過つて地
面に墜落したが幸ひ微傷も
なかつた

冬の素描

魔寸像生

川柳に季節を詠み入れた
ものは餘り數多くなく而も
透選が少い追々寒くなる冬
を迎へるに當つて其デッサ
ン（素描）を試みるのも亦一
から拾ひ出して見た
大社立きをして見たい
とこ
秋の收穫終りて刈取つた稻
の株の行儀よく田の面に並
んで居るのをわさびおろし
と見立てた川柳の特殊觀
念

疾走中の消防自動車から 過つて地上に放り出さる

きのふ午後再度の火出た

八月十七日 參謀本部付陸
軍大尉中村震太郎氏の虎殺
事件が發表された。六月二
十七日頃洗米鐵道沿線蘇鄂
公府附近に於て支那兵の爲
め銃殺され證據煙滅を圖つ
た。大尉の消息はお
政務の力によつて判明した
のだ。蒙古に咲いても流石
は大和撫子だ

地球廻轉記

地球生

七月十三日 ドイツ國立銀
行總裁ハンス、ルーテル博
士が英佛兩國にクレヂット
受取に出かけたが、交渉望
み薄のまゝ、十一日飛行機で
パリからベルリンに歸還し
た。ダナート銀行はドイツ
の尾を振つてゐる。



果樹 着手に當ての注意 (文)

元來柿は枯露柿或は熟柿用として改良された品種で焼酎で脱澱して所謂清柿柿として出荷するのには此の不向な柿である、此の點に於て會津下身知は最も柿柿用として適して居る、柿に對しては最もよく脱澱し易く又箱詰にするのにも扁中なる故詰込み易く果肉が閉い故脱澱した後可也貯藏がきく点等到底柿屋の及ぶ所でない、昨年度京市場での平均相場を算ると柿屋が一貫及二十六錢弱なるに對し會津下身知は四十三錢餘に販賣されて居るのを見ても柿屋の方が前に比し柿柿としては遙かに有利なるを物語つて居る、唯會津下身知は澱が多少澱白の傾きがあるこの點に於て平核無が遙かに會津下身知を凌いで居る故に平核無も今後栽培には相當有利な品種と思ふ、従來まで縣外に出荷して居る會津下身知は従來より唯放任的に栽培されてゐたものにて特に果樹園として手を入れて作つたと云ふものは殆んどない、岐阜縣の富有柿は袋掛までして栽培して居ると云ふ事を知りて居るが本縣の不身知柿も剪定肥培管理宜敷を得て充分手をかけて生

産したならば必ずや富有柿に比し遜るものがあると思ふ

平町 藤沼醫院

電話 七〇五番

院址 平町 紺屋町

特約販賣 關内商店

ガソリン モビール油 日本石油 株式會社

支店 山形市 電話 三三三八

支店 仙台市 電話 四〇六六

支店 盛岡市 電話 四〇六六

支店 秋田市 電話 四〇六六

支店 大館市 電話 四〇六六

支店 弘前市 電話 四〇六六

支店 青森市 電話 四〇六六

支店 函館市 電話 四〇六六

平町 小唄 民謡を募集す

平町を紹介する高雅な民謡を募集す

賞選入

- 一等賞 五圓
- 二等賞 三圓
- 三等賞 二圓
- 四等賞 一圓
- 五等賞 五角

審査員 選外

佳作に選入 薄謝を呈す

後援 平町教育會

注意 一、応募稿は平町教育會の版權とす

二、入選佳作に對しては加除修正することあるべし

内科、小兒科 電話 五三三番

外科、花柳病科

耳鼻咽喉科

レントゲン科

高久病院

院長醫學士高久忠

多田井質店

債券、公債、兩替、金融

平町 大工町

電話 五九一

服んで良くなる

(絶対に胃腸を害さぬ)

淋病と 消渴の 特效藥 濟淋

本舖 責任製劑 水野藥局

平町一丁目

振替貯金口座 八八七六

火災防火の一大革命!

國民財産保全の一大福音

セロン防火現ハル

セロン防火現ハルは從來ノ消火器や消火彈ノ後ニ火ヲ見テ消スニ非ラズ未燃ニ消火スルノミナラズ耐久力ヲ增加セシムルヲ以テ其利益甚大ナリ

使用箇所

建築物ノ周圍、炊事場、風呂場、アンカ、炬燵、提灯、戸障子其他火氣ノ恐アル箇所本劑ハ實驗ノ結果其効力偉大ナルヲ以テ各縣警察署町消防組ノ賞讃ヲ辱フセリ

本劑ハ個人買リハ致シマセンカラ御所希願ノ方ハ各町消防組又ハ火防組ニ御申込下サイ

福島縣平町白銀町(電話三三三番)

東北セロン商會

店主 櫻井清

景氣好轉の魁

諸物價の上値向を差ひかへて 實用家具漆器雜貨

本年の大廉賣

最終の大廉賣

十二月七日から三十日まで

平町 本丸はん家具店

電話 三五九番

移轉お知らせ

此度平町田町七十五番地(元平町役場跡)に移轉致しました

從前の通り一般の診療に従事致します

昭和六年十二月廿九日

平町田町七十五番地

清水醫院

醫學士 清水廣政

電話 三三八番

西洋料理共に自慢の腕

サーピスのよい

女給も揃つて二座います

期節的の 支那料理

は特に勉強

四品付定食五十錢、五品付定食一圓

平町、四丁目 電話、五七六

カフェエーボタン

安流丸

諸毒下しの大妙藥

平町、山形市、盛岡市、秋田市、大館市、弘前市、青森市、函館市

電話 三五九番

七五三帽子均一廉賣

均一 10 錢

均一 20 錢

均一 30 錢

均一 50 錢

均一 70 錢

均一 95 錢

均一

廿二日迄

モリヤ洋品店

平町一丁目 電話 三五三